



ims

通信



2024年 10月号

いよいよ10月ですね！何をするにも最適な、秋本番の季節を迎えました！
そんな10月の代表的な和風月名は、「神無月(かんなづき)」です。

【なぜ「神無月」と呼ぶのか？】

10月は、日本中の神々が縁結びの相談をするために、
出雲大社に集まる月と考えられてきました。
そこで、各地から神様がいなくなる月、
つまり、「神無月(かみなしづき)」が、「かんなづき」になったといわれます。
逆に、出雲では「神在月(かみありづき)」と呼ばれてきたそうです。

【その他の10月の呼び名は？】

10月の呼称

開冬…かいとう・木の葉月…このはづき
時雨月…しぐれづき・初霜月…はつしもづき・小春…こはる
陽月…ようげつ・良月…りょうげつ など…

【開冬】(かいとう)

「開冬」は、冬の初めという意味です。旧暦では10月から冬が始まるので、
旧暦10月の異称としても用いられるようになりました。
いよいよ冬の幕が開くようで、気が引き締まる思いがします。

【時雨月】(しぐれづき)

時雨は、晩秋から初冬にかけて、降ったりやんだりする通り雨のことです。
旧暦10月は、時雨が降る月ということで、「時雨月」という異称でも呼ばれます。

【良月】(りょうげつ)

古代、10は、満ち足りた数であるとされました。それで、10月は「良月」と呼ぶのだそうです。
収穫を終え、まだ寒さも厳しくはありません。

良い月という意味では、現在の10月にも当てはまるのではないのでしょうか。
空は高く澄み渡り、さわやかな風が吹き、食べ物もおいしい季節です。
存分に楽しんで、みなさんにとっても、充実した良い月になるといいですね。

【七十二候】

七十二候(しちじゅうにこう)は、
二十四節気をそれぞれ3つずつの季節に分けたもので1年では72の季節になります。
自然に目を向けると、四季折々の季節の移り変わりを感じることができます！
毎月一緒に季節の移り変わりを感じましょう！

《今月の七十二候》2024年10月13日～17日頃「菊花開(きくのはなひらく)」

七十二候が寒露の次候に変わり、菊の花が咲き始める頃となりました。
この時期にひと月遅れで迎える旧暦9月9日の「重陽の節句」は、ちょうど菊の花の盛りの頃。
別名「菊の節句」とも言われ、この日には菊の花を浮かべた菊花酒を飲み、
長寿と無病息災を願う風習がありました。



インスタ、ブログはじめました!!

ims 社員の日々の出来事やつぶやき、
情報提供など様々な内容を配信しております。
毎日更新中！下記よりご覧いただけます！

ブログ



インスタ



災害時・緊急時含め弊社から
情報提供をさせていただきます。
メールアドレスご登録の際は、
本文へお名前(フルネーム)をご入力下さい！

弊社HP



メールアドレス



〒239-0835 横須賀市佐原1-10-1
有限会社 ims (アイエムエス)
TEL:046-838-5522 FAX:046-838-5533